

## オーディオミキサー WR-33

## ■概要

## 入力回路

- 入力1~4の入力レベルは-50/-40/-30/-20/0 dB(平衡)と PHONO (-58dB MIN 50kΩ) の6段階に切り換えができます。入力5~8の入力レベルは-50/-40/-30/-20/0/+10dB(平衡)の6段階に切り換えができ、きめ細かにレベル合せができます。
- 各入力に2軸バリエブルタイプのイコライザつまみが付いています。内側のつまみは高音用(HIGH EQ 15kHz±15dB)、外側は低音用(LOW EQ、50Hz±15dB)で、音質補正ができます。
- 各入力のプリフェーダ信号を[A], [B]のプログラム出力と別系統で出力できるモニター出力つまみが付いています。ミュージシャンへのキュー信号やステージのフォールドバックなどの送り出しレベル調節用として使用できます。また、レコードプレーヤのフェードイン/アウトのヘッドホンモニターとしても使用できます。
- 各入力にプリフェーダ信号を[A], [B]のプログラム出力と別系統で出力できるエフェクトつまみが付いています。エコーマシンなどへの送り出しができます。
- 各入力にパンポット機能が付いています。入力信号をA, Bのプログラム出力へ振り分け、音像A↔B間に自由に移動させることができます。
- ピークインジケータにより過大入力時に点灯するため、適正レベルに調節できます。
- 予備入力として、AUX IN 1,2が付属しており、レベルコントロールおよびパンコントロールによりLINE OUT A, Bにミキシング可能なため、ライン入力、サブミキサ入力等として使用できます。
- EFFECT RETURN 入力、LINE OUT A, B へのミキシングおよびモニターへのミキシングができます。
- 入力コネクタ1~8はキャノンタイプコネクタ(平衡)を使用しています。また入力ジャック7,8は複式ジャックを(平衡)も使用できます。

## 出力回路

- 出力はA, Bチャンネルとも定格出力+4dBで、かつ十分なダイナミックレンジを持っています。
- 大型のVUメータ採用により、音量チェックが容易にできます。
- 各出力として、LINE OUT A, Bの他にMONITOR出力、EFFECT出力、RECORDING A, B出力、A, Bモノアウト出力、ヘッドホンモニター出力などが付属しているので、十分なシステム性を備えています。
- ヘッドホンにより、A, B出力、MONITOR出力、EFFECT出力を検聴できます。
- LINE OUT 1 A, BとLINE OUT 2 A, Bは電源スイッチON-OFF時のノイズを低減するミュートイング回路が付いています。
- ライン出力ジャックは、LINE OUT 1 A, BとLINE OUT 2 A, Bがあり、サブ出力として使用することができます。
- LINE OUT 1 A, Bはキャノンタイプコネクタ(平衡)、LINE OUT 2 A, Bは単式ジャック(不平衡)を使用しています。

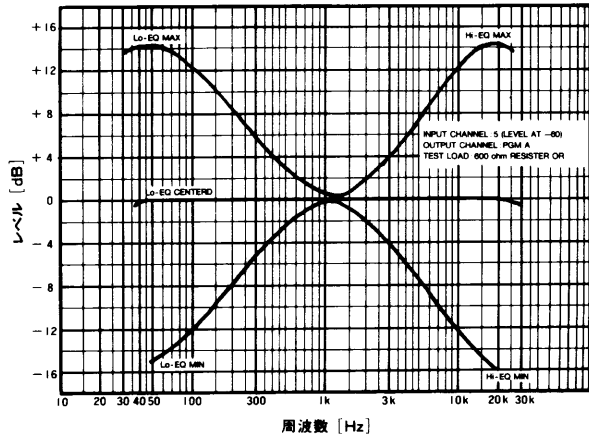
## その他

- フェーダはすべて60mmスライドボリュームを使用しています。
- コンパクトなポータブルタイプで、機動性に優れています。
- 操作パネルは人間工学的配慮をした、使いやすいレイアウトになっています。

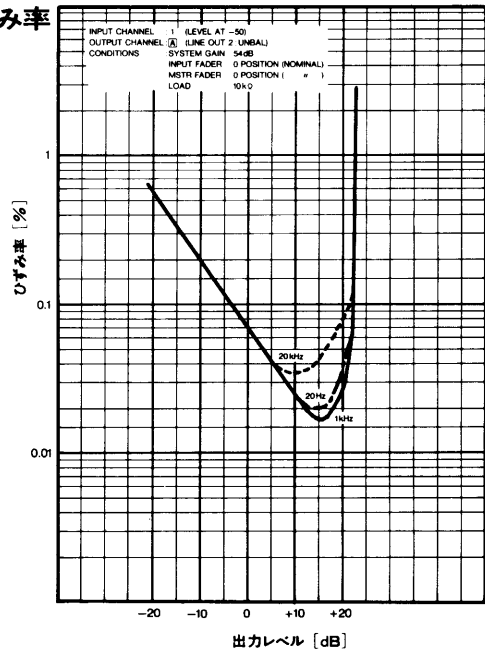


# ■ 特性表

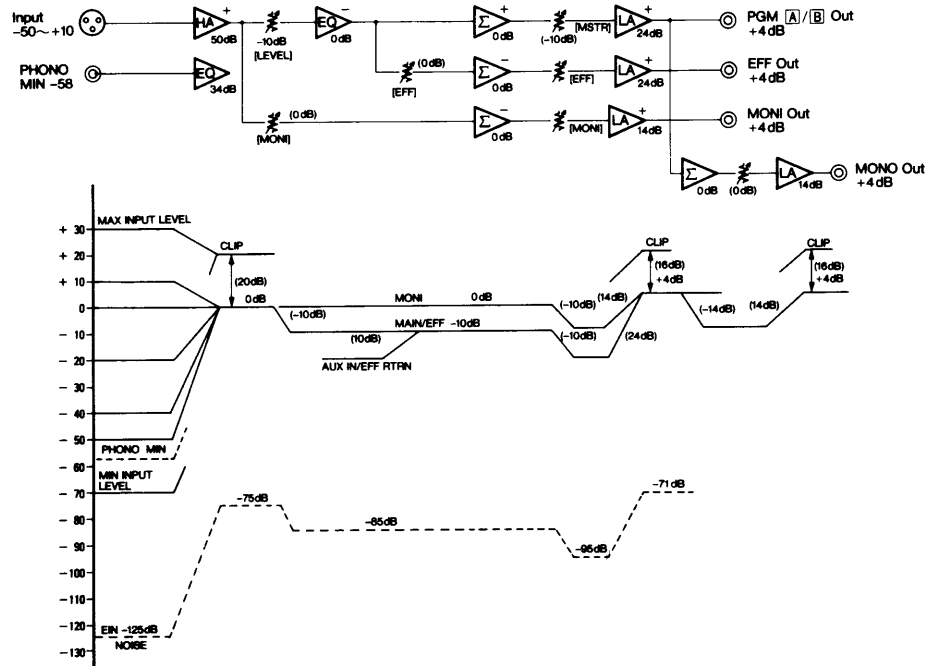
## ● 周波数特性



## ● 高調波ひずみ率



# ■ レベルダイアグラム



# ■ブロックダイアグラム

